

シミュレーション可視化の未来

計算科学ミュージアム実現に向けて

2018年 **2月24日(土)**
13:00~17:35 (受付 12:30~)

日本橋ライフサイエンスハブ

(室町ちばぎん三井ビルディング* 8F) *コレド室町3併設の建物です。
※1Fのオフィスエントランスよりお入りください。



SPECIAL GUEST
招待講演

中島 映至 氏

JAXA第一宇宙技術部門
地球観測研究センター (EORC) センター長

「近年の地球環境問題と
その見える化」

Webでの 事前登録制

どなたでも参加いただけます
<http://www.aics.riken.jp/mieruka2018/>

定員に達し次第、締め切らせていただきます。



**参加費
無料**
定員120名

Program プログラム ※詳細は裏面をご覧ください。

▶ 展示コーナー

- 「コンピュータ・シミュレーションでできること、わかること」
- 特別ポスター「シミュレーション図」

▶ 課題提起

なかなか伝わらない
「シミュレーションの価値」

辛木 哲夫 理化学研究所 計算科学研究推進室

計算科学の見える化：
方程式～アルゴリズム～データ

藤堂 眞治 東京大学大学院理学系研究科 准教授

▶ 講演

科学技術館科学ライブショー
「ユニバース」22年間の実践から

亀谷 和久 国立天文台/科学ライブショー「ユニバース」筆頭案内役

目に見えない実物を展示する

島田 卓也 展示プランナー・ディレクター/日本科学未来館 展示企画開発課

科学データを見るということ

三浦 均 武蔵野美術大学 映像学科教授

▶ 招待講演

近年の地球環境問題とその見える化

中島 映至

JAXA第一宇宙技術部門 地球観測研究センター (EORC) センター長

▶ パネルディスカッション

計算科学ミュージアム実現に向けて

パネリスト

辛木 哲夫、藤堂 眞治、亀谷 和久、
島田 卓也、三浦 均、中島 映至

モデレータ

古宇田 光
東京大学 物性研究所 計算物質科学研究センター

